

講義名	オ)発育発達論		
担当教員	北村 裕美		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 3時限	授業形態	講義
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

**主題と概要**

本講義では、ヒトの誕生から成長、成熟、老化といった自過程における身体的、心理的、社会的特徴について学習する。特に、発育期における運動遊びの重要性やスポーツ外傷・障害予防の考え方について、最新の知見を紹介しながら概説する。

**到達目標**

発育、発達、加齢に伴う身体変化について、説明できるようになる。  
現代の子どもの諸問題について、説明できるようになる。

**提出課題**

確認テスト（毎授業時に行います）  
コメントシート  
レポート

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック**

必要に応じて、個別に返却する。

**評価の基準**

期末試験・・・75%  
レポート・・・25%  
\*所定の出席（2/3以上）に満たない場合、単位は認定できない。

**履修にあたっての注意・助言他**

本講義は、「健康運動実践指導者」受験資格取得に必要な科目である。  
オンデマンド型で配布する資料は、著作権法等の理由により、対面型で提供する資料と一部異なることがある。  
就職活動による欠席は考慮しない。  
質問は、Microsoft Formsを使用して行ってください。

教科書	.使用しない。			

**プリント資料及び参考文献**

<資料>  
ボータルの講義連絡を使用して配布する。  
<参考文献>  
・大人が知らない子どもの体の不思議、橋原 洋一、講談社、2008年  
・子どもに「体力」をとりもどそう、宮下 充正、杏林書院、2007年  
・子どもの健康と安全演習ブック、小林 文、既井ますみ他、ミネルヴァ書房、2020年  
・こどもの病気の地図帳、橋下 重彦、柳澤 正義、講談社、2002年

**授業計画**

1. はじめに
2. 発育・発達とは
3. 乳幼児期の発育
4. 乳児期の発達
5. 幼児期の発達
6. 学童期の発育
7. 学童期の発達
8. 子どもの健康と安全
9. 思春期の発育
10. 思春期の発達
11. 青年期の発達
12. 加齢・老化とは
13. 中年期の加齢変化と健康
14. 老年期の加齢変化と健康
15. まとめ

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

予習：授業計画に合わせて、自分の子どもの頃の体験を整理したり、家族や身近な大人に身体の変化について尋ねたりする（2時間）。  
復習：授業中に理解できなかった専門用語や内容は自分で調べ、まとめる（2時間）。

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

本講義は、健康分野に関する基礎知識の習得を到達目標としており、ディプロマポリシーの一部に貢献する科目である。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

双方向授業では、Microsoft Formsを使用して、確認テストやコメントシートの提出を行う。

**実務経験の有無及び活用**

**備考**